

「ふるさと納税」

3月議会の平成29年度予算にふるさと納税「一千万円を見込んだ予算が計上されました。

前年度の実績は9件154万円平成28年12月現在です。

かかる費用（ふるさと納税業務委託料や返礼品など）は約600万円、収益として約300万円を見込んでいます。返礼品については、町内業者の特産品やレジャー施設の利用などを考えています。

今、返礼品めあての納税などふるさと納税を見直す自治体もありま

す。先日の埼玉新聞によりますと、鶴ヶ島市では、18社58品目だった返礼品をリニューアルして、20社107品目に拡大し、納税の寄付を確保していくとありました。

ふるさと納税の寄付受入額は年々増加しているようです。

又、所沢市は「選ぶことに視点が向いてしまっている」と、返礼品

の提供を本年度で終了と表明しました。返礼品をかならず送らなければいけないという決まりはなく、各自治体の判断となっております。皆野町でもどれだけの効果があるのか、何人かの議員から質問がだされました。

太陽光パネルの設置

昨年5月「みな民報」で「太陽光発電が増えるネー」という記事を掲載しました。

その後登谷山牧場付近には、新たに山斜面の木が伐り倒され「マガソラー」が設置されています。その広さやパネルの並んでいる光景に圧倒されてしまいます。

今回、町は「太陽光発電施設の設置に関するガイドライン」を施行しましたが、法的な拘束力は弱いもの

だといつ事です。山を切り開いての太陽光パネル設置は大雨による土砂災害や飲み水な

お知らせ

4月23日（日） 13:30～16:00

所 皆野文化会館3F

皆野九条の会学習会

日韓関係と日本の憲法

講師 小田川 興氏

早稲田大学教授・元朝日新聞ソウル支局長

ど環境に与える影響が心配されます。条例を作り規制をすることも必要ではないでしょうか。



知子のひとりごと

常山 知子



山登りが好きだった今、全然登っていないので私にとって、山岳事故は特に胸がいたみます。

栃木県那須町のスキー場で、登山講習中の高校生らが雪崩に巻き込まれ、尊い命がうばわれました。

事故前に一時期雪崩が起きる危険性があるとして、スキー場一部が封鎖されていたようですが、何故、もう少し慎重な判断が出来なかったのか？ニュー入が流れるたびに思っています。

先日、新聞に「埼玉県防災へり救助有料化可決」という記事が載りました。県内の山で遭難した登山者を県防災へりで救助した場合手数料、燃料費として5万円程度を徴収するということです。有料化は全国で初めてです。無謀な登山はついに止むべきですが、助かる命も金しいでは、秩父地方の登山客の減少など悪影響がでるのではと懸念します。安心して山登りを楽しめ、事故が起きないよう、登山道の整備やわかりやすい案内板の設置などに力を入れて欲しいものです。

新しい時代を前進させる

野党と市民の共闘を！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

常山 知子 電話・FAX 62-6733